

2022年3月期 決算説明資料

(2021年4月1日～2022年3月31日)



株式会社 精工技研

2022年5月17日

- I. 2022年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画「マスタープラン2016」の総括
- III. 中期経営計画「マスタープラン2022」
- IV. 2023年3月期 連結業績見通し

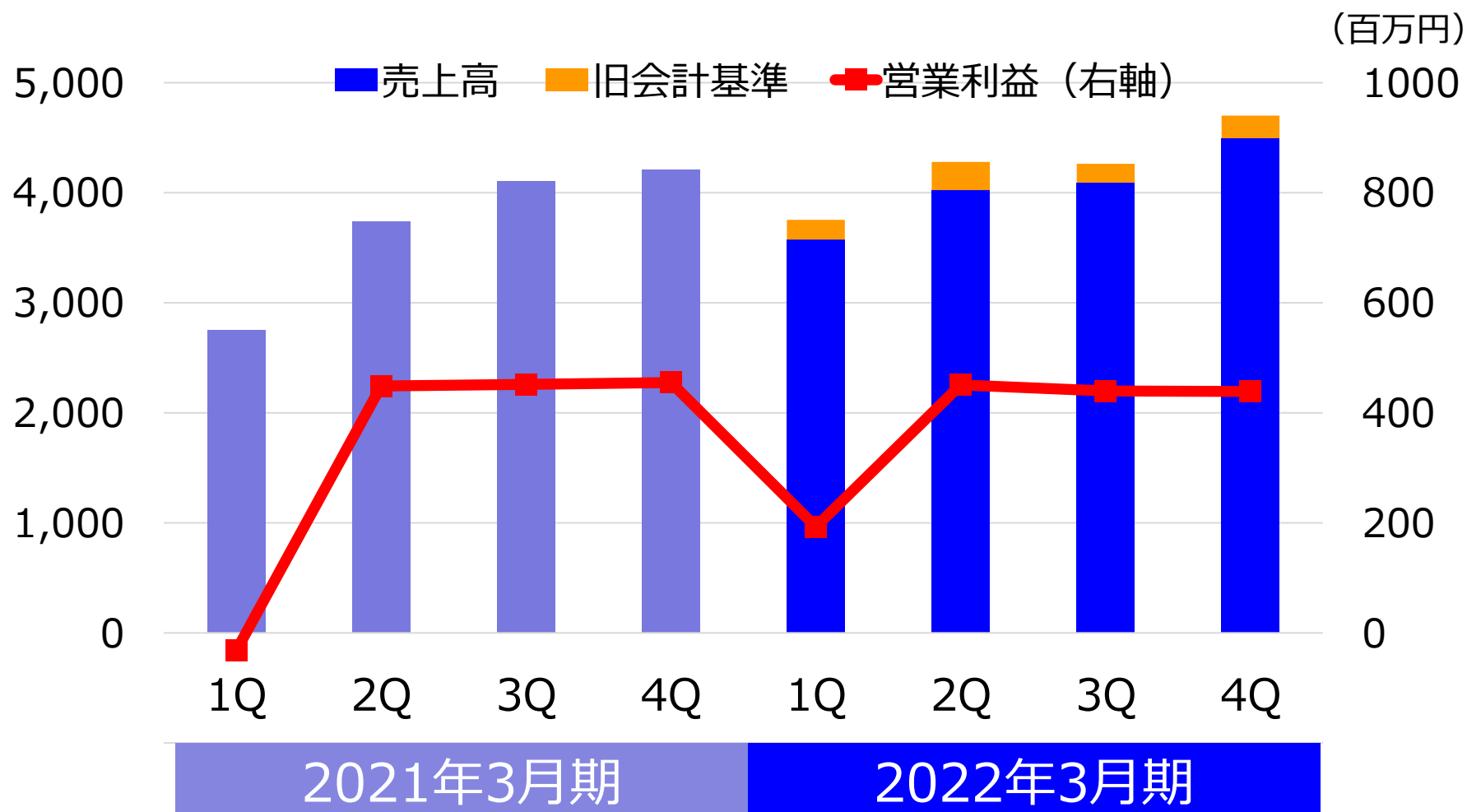
- I. 2022年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画「マスタープラン2016」の総括
- III. 中期経営計画「マスタープラン2022」
- IV. 2023年3月期 連結業績見通し

2022年3月期 連結決算ハイライト①

(百万円)	2022年3月期	2021年3月期	対前期増減率	業績予想値 (2021/5/14)
売上高	16,188	14,818	9.3%	16,890
精機部門	8,478	8,675	△2.3%	9,100
光製品部門	7,710	6,142	25.5%	7,790
営業利益	1,524	1,324	15.1%	1,550
経常利益	1,641	1,431	14.6%	1,640
当期純利益	1,150	983	16.9%	1,100

連結損益 四半期推移

■ 売上高は増加傾向 営業利益は横ばいで推移



2022年3月期 連結決算ハイライト②

(百万円)	2022年3月期	2021年3月期	対前期増減率
受注高	17,241	15,269	+12.9%
受注残	4,026	2,974	+35.4%
設備投資	1,476	869	+69.8%
減価償却費	1,260	1,542	△18.2%
研究開発費	437	403	+8.4%

精機部門／主要製品・主要技術

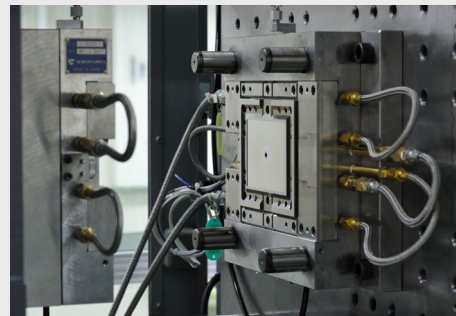
◆ 成形品

車載用インサート成形品
金属プレス成形品
樹脂射出成形品 等



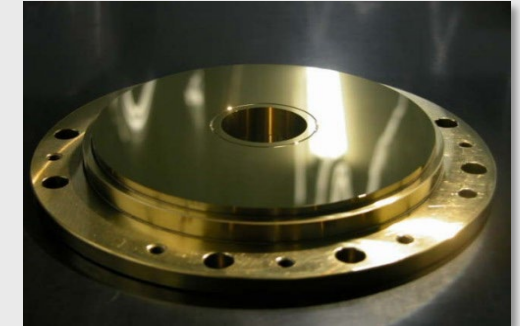
◆ 金型

アーカイブディスク用金型
その他 精密金型



◆ その他

精密金属加工部品 等



精機部門／セグメント業績

(百万円)	2022年3月期	2021年3月期	対前期増減率
売上高	8,478	8,675	△2.3%
営業費用	8,097	8,023	+ 0.9%
営業利益	381	652	△41.5%
営業利益率	4.5%	7.5%	—

精機部門／製品別売上高

百万円

■ 金型

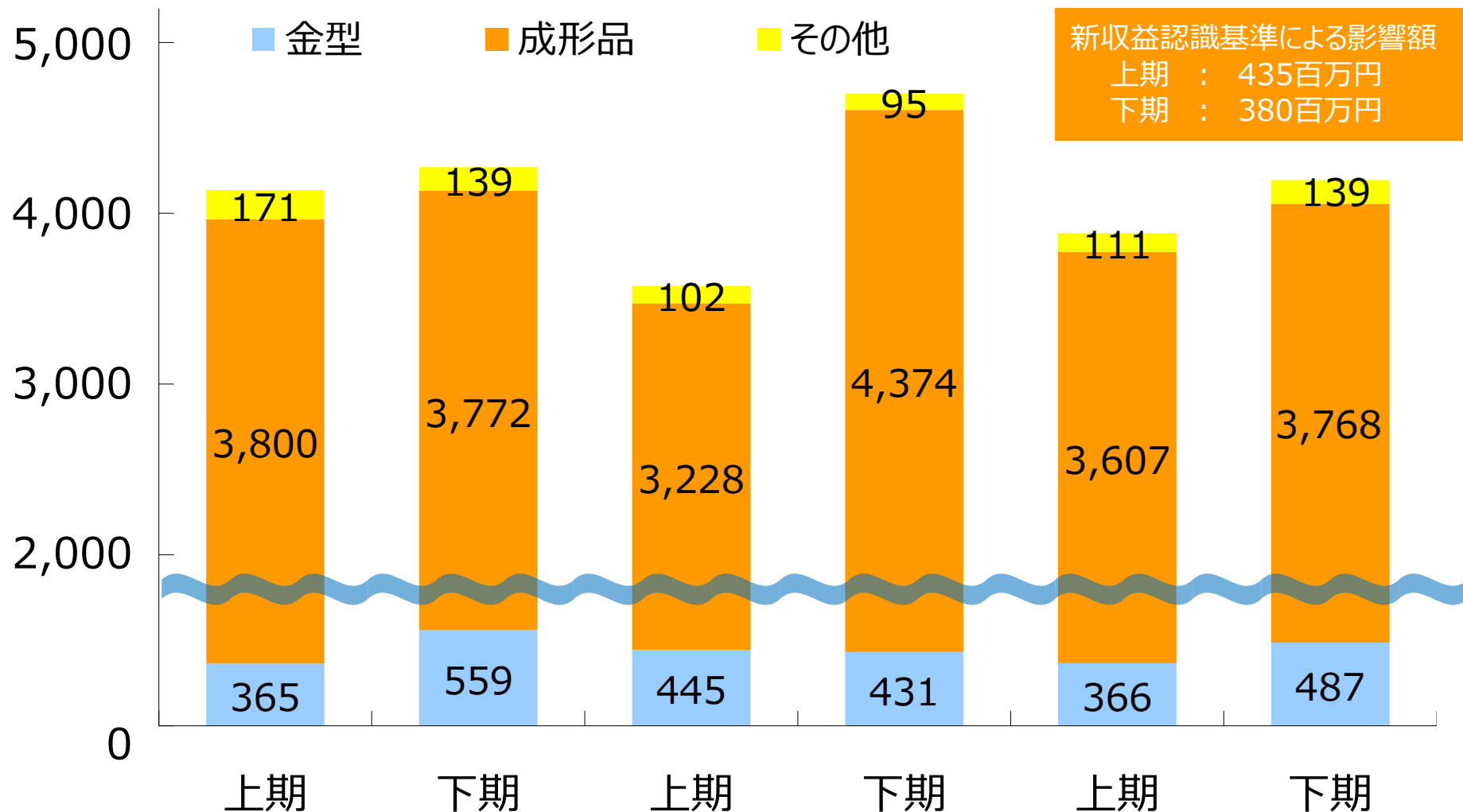
■ 成形品

■ その他

新収益認識基準による影響額

上期 : 435百万円

下期 : 380百万円



2020年3月期

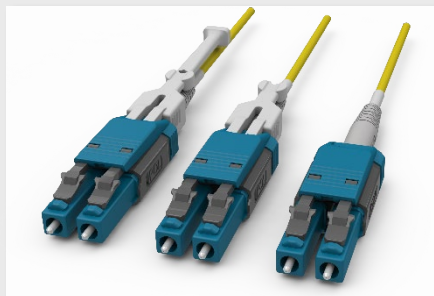
2021年3月期

2022年3月期

光製品部門／主要製品・主要技術

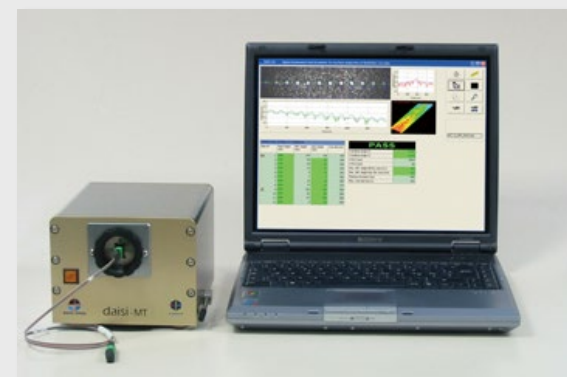
◆ 光通信用部品

光コネクタ
フェルール 等



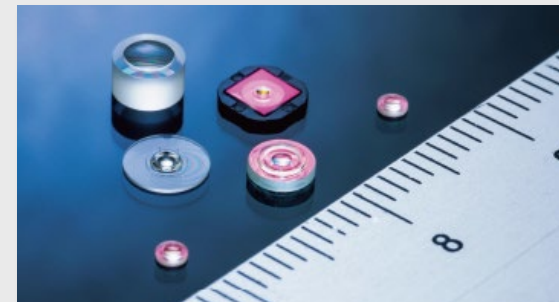
◆ 製造機器・装置

光コネクタ研磨機
光コネクタ端面検査装置
光電界センサー 等



◆ その他

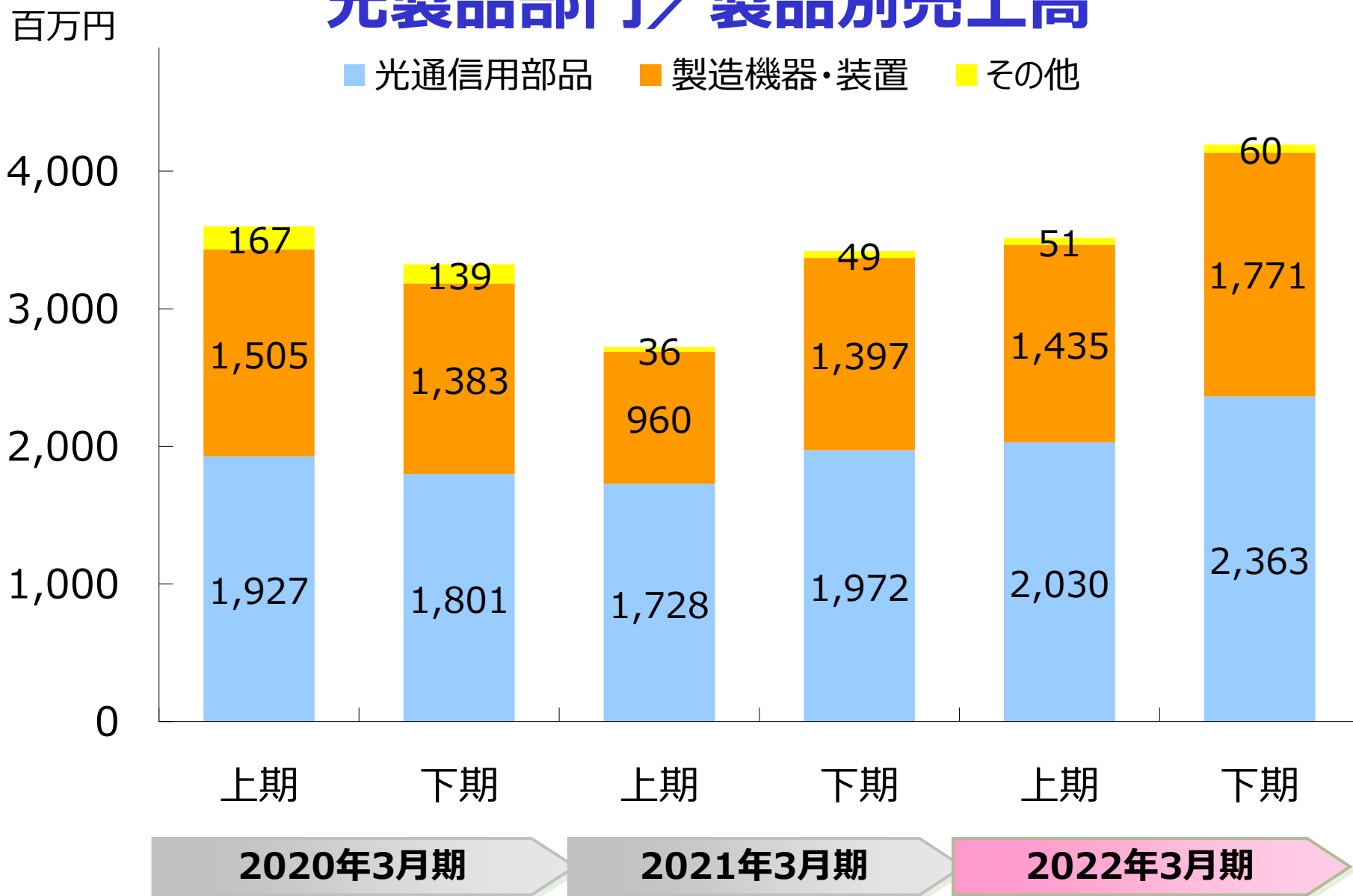
超小型レンズ 等



光製品部門／セグメント業績

(百万円)	2022年3月期	2021年3月期	対前期増減率
売上高	7,710	6,142	+25.5%
営業費用	6,567	5,470	+20.1%
営業利益	1,143	672	+70.0%
営業利益率	14.8%	10.9%	—

光製品部門／製品別売上高



連結貸借対照表

(百万円)

<資産の部>	2022年3月期	2021年3月期	増減額
流動資産	20,635	19,026	+ 1,609
固定資産	9,703	9,939	△236
資産合計	30,339	28,966	+ 1,372
<負債及び純資産の部>			
流動負債	3,367	3,375	△8
固定負債	1,477	1,376	+ 100
純資産	25,494	24,213	+ 1,280
負債純資産合計	30,339	28,966	+ 1,372

連結キャッシュ・フロー計算書

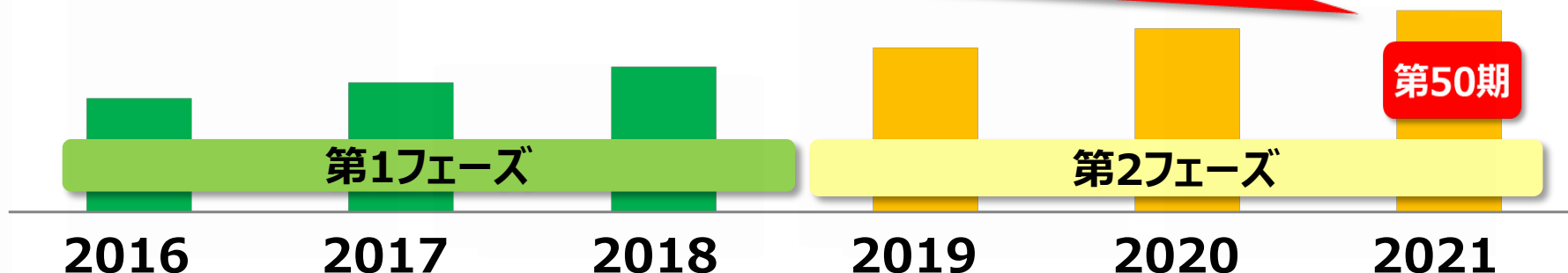
(百万円)	2022年3月期	2021年3月期
営業キャッシュ・フロー	1,868	2,374
投資キャッシュ・フロー	△2,328	△626
財務キャッシュ・フロー	△429	△411
現金増減額	△678	1,327
期首残高	4,877	3,550
期末残高	4,198	4,877



Ⅱ. 中期経営計画 マスタープラン2016 の総括 (2016年度～2021年度)

中期経営計画 マスタープラン2016 経営指標と基本戦略

連結売上高 250億円 連結営業利益 25億円以上



1 既存事業の収益力強化

- 販売力の強化
- 価格競争力の強化
- 新製品・新技術開発の加速

2 事業ポートフォリオの最適化

- 次世代事業の創出
- 不採算事業の合理化

3 経営基盤の強化

- コーポレート機能の強化
- 成長への投資
- 品質管理・特許戦略の強化

基本戦略 成果と課題

計 画	アクション	実施時期
既存事業の収益力強化		
販売力の強化	DATA PIXCEL社（フランス）連結子会社化 製品ラインアップの拡大	2017年4月
	浙江精工光電設立 中国データセンター関連企業へのアプローチ強化	2018年7月
	杭州技研光電設立 中国ケーブルテレビ関連市場へのアプローチ強化	2021年10月
価格競争力の強化	本社と不二電子工業 製造自動化プロジェクト発足 自動機内製開始	2017年6月
	不二電子工業 千歳工場 生産スペースを拡張し製造キャパシティの拡大	2020年6月
	大連精工技研 新工場取得 フェルールの増産と異分野展開への足掛かり	2021年6月
	杭州精工技研 杭州市臨安区に工場賃借 光コネクタの受注拡大に対応	2021年12月
新製品・ 新技術開発の加速	5G用の28GHz帯電波を正確に測定する光電界センサーを開発	2019年7月
	データセンター向けの新型光コネクタ「Intelli-Cross PRO」をリリース	2020年10月
	光ファイバーでGPS電波を伝送する「GNSS光伝送ユニット」をリリース	2021年11月
	PCR検査への応用も可能な「医療用マイクロ流路デバイス」量産開始	2021年12月

基本戦略 成果と課題

計 画

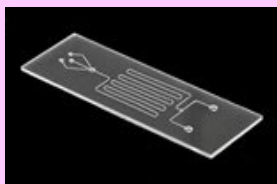
成果と課題

事業ポートフォリオの最適化

成長期待事業



レンズ



医療用樹脂成形品

成長牽引事業



光通信用部品

Growth

Growth

Cash



医療機器／バイオ



カーエレクトロニクス

次世代事業



光部品製造機器



車載用成形品

収益基盤事業

次世代事業の創出
不採算事業の合理化

- 光通信用部品は売上が増加し、成長牽引事業へと成長
- スマホ向け精密プレス成形品はコロナ禍で売上減少し、収益貢献度が低下
- 医療用樹脂成形品を新たな成形品の柱として期待

精密プレス成形品



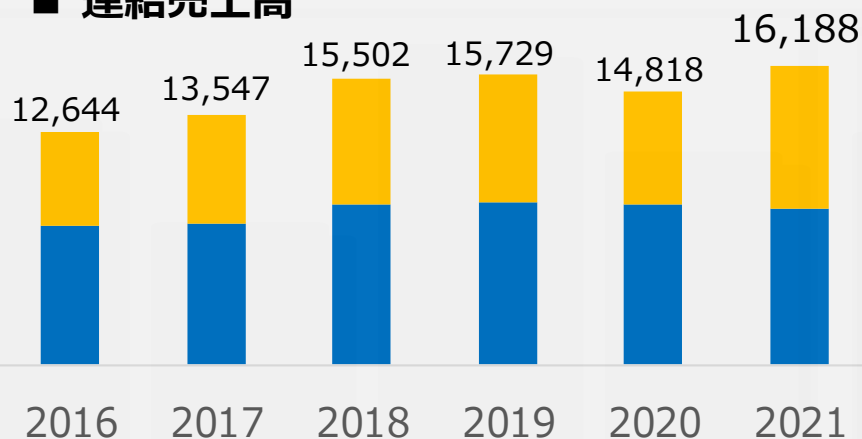
基本戦略 成果と課題

計 画	アクション	実施時期
経営基盤の強化		
コーポレート機能の強化	監査等委員会設置会社化し、取締役会の機能を強化	2016年6月
	取締役会の実効性評価を開始	2017年4月
	働き方改革「メリハリワーク」開始 ノー残業デー、シフト勤務等の実施	2017年5月
	社員に対し第5回新株予約権の発行 業績向上と株価上昇を連動化	2017年6月
	定年年齢を60歳から62歳に引き上げ	2018年4月
	執行役員制度を導入 意思決定の迅速化を促進	2018年4月
	株価連動型役員報酬制度、経営幹部単年度業績連動報酬制度導入	2018年6月
	本社BCPを刷新 大規模自然災害発生時の事業継続力を強化	2018年12月
	社外役員を1名増員 取締役9名中4名が社外役員に	2019年6月

経営目標の達成状況

＜＜経営目標＞＞ 連結売上高 250億円
連結営業利益 25億円以上

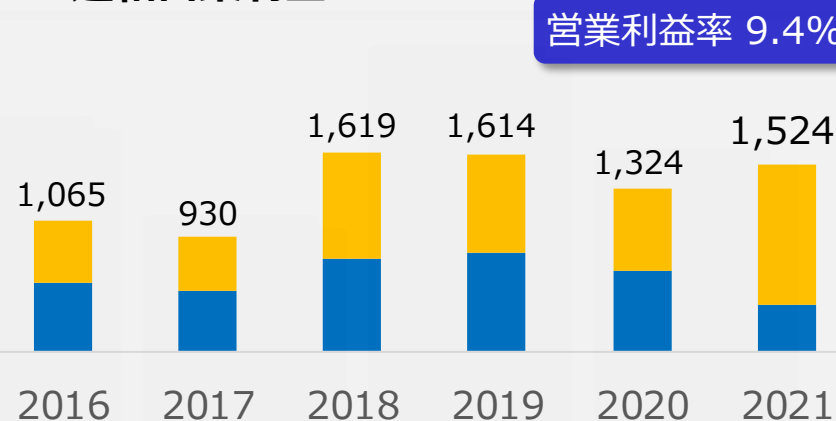
■ 連結売上高



- 売上高、営業利益は目標未達に
- 米中貿易摩擦、新型コロナウイルス等外部環境の悪化を受けて減速
- 新製品のリリース、新規顧客開拓の遅れ
- 大型M&A案件は成約に至らず

■ 精機関連 ■ 光製品関連 (単位: 百万円)

■ 連結営業利益



次期中期経営計画へ引き継ぐ課題

“環境の変化”を“成長の機会”とし、
事業の成長と社会への貢献を
両立する企業グループへ

Ⅲ. 中期経営計画
マスタープラン2022
(2022年度～2026年度)

当社グループが目指す企業像 「社会に必要とされる企業」

社会の**維持継続**に貢献する

- ・ 資源循環型社会の構築
- ・ 脱炭素社会の構築



社会の**進歩発展**に貢献する

- ・ 豊かで快適な社会の構築
- ・ 安全安心な社会の構築



真に「社会に必要とされる企業」となるために

「変化」と「成長」 Change & Growth

“環境の変化”を“成長の機会”と捉え、

経済価値の最大化

社会価値の最適化

の、両立を図る

マスタープラン2022 基本戦略

経済価値の最大化 ～事業の成長～

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

新製品・ 新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

社会価値の最適化 ～サステナビリティ～

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

中期経営計画「マスタープラン2022」

～ 経済価値の最大化のための ～

中期成長戦略

情報通信



自動車



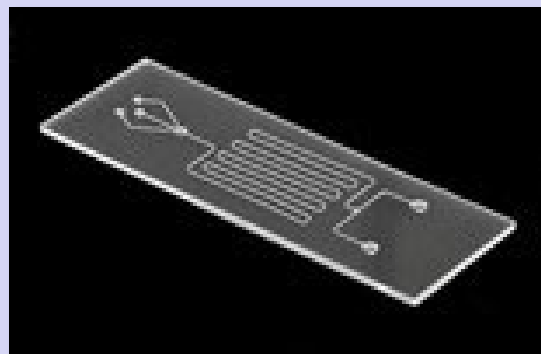
医療・バイオ



優位性のある基盤技術を成長市場に展開



精密加工技術



精密成形技術



光学技術

部品ビジネスから完成品までを手掛ける高付加価値デバイスビジネスへ

■ 販売戦略（顧客接点の活性化）

車載

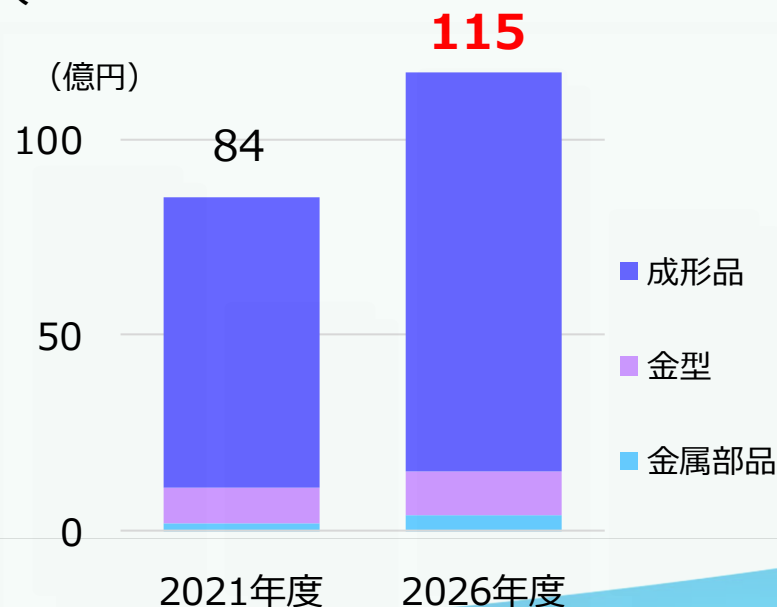
- ・ EV、PHV、FCV向け新規案件の獲得
- ・ 電子部品を組み込んだモジュール製品の拡販
- ・ プレス+インサート成形品の案件開拓
- ・ 中国、インド等、海外市場の開拓
- ・ 展示会等、新規顧客との接触機会の増大

医療

- ・ 医療・バイオ市場のマーケティング
- ・ 商社、代理店を含め販路の開拓
- ・ 精密樹脂成形品の新規顧客開拓

情報通信

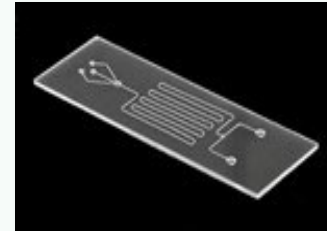
- ・ プレス成形品（ドームコンタクト）はウェアラブル端末等の新規用途を開拓



部品ビジネスから完成品までを手掛ける高付加価値デバイスビジネスへ

■ 開発戦略（新製品・新技術開発の加速）

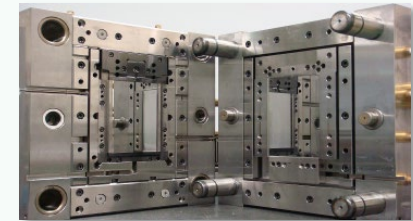
- ・ EV、PHV、FCV向け成形品の開発スピードの向上
- ・ 医療・バイオ市場向け新製品の量産開発
- ・ 環境に配慮した構造の金型の開発
- ・ 他社、大学、公的研究機関との技術連携強化



マイクロ流路デバイス



EV車向け電装部品の開発



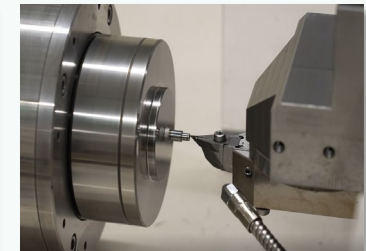
精密金型の開発

■ 生産戦略（ものづくり力の強化）

- ・ 成形～組立～検査工程の自動機内製化加速
- ・ 工場スペースの拡張により生産能力の増強
- ・ 調達先や外注先の複数化による生産の安定化
- ・ 中国大連子会社における車載部品量産化の検討



車載部品成形工場
(千歳工場)



精密加工技術

中期成長戦略 ～光製品事業～

経済価値の最大化

高機能新製品の市場投入と、工場拡張・自動化による生産力の増強

■ 販売戦略（顧客接点の活性化）

光部品

- ・ データセンター関連大手顧客の開拓
- ・ 中国CATV関連の新規顧客の開拓
(昨年設立した杭州技研光電の活用)
- ・ 欧米エリアへのアプローチ強化

機器

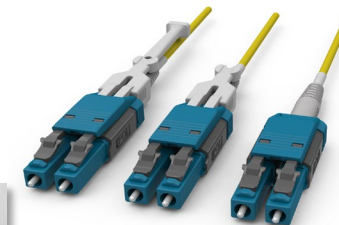
- ・ MT対応研磨機の拡販
- ・ 海外顧客への技術サポートの強化
- ・ 空港マルチレーン用等、
光伝送装置・光電界センサーの拡販

レンズ

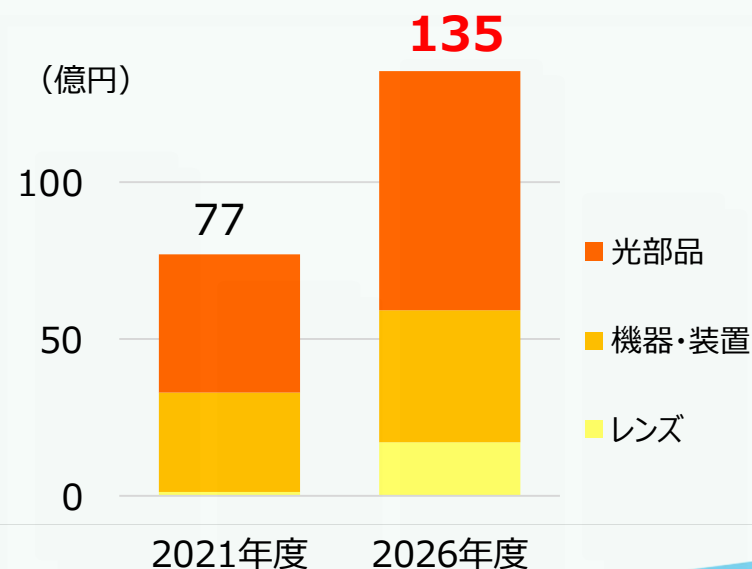
- ・ 内視鏡向け超小型レンズの量産加速
- ・ 3Dセンシング、車載向け等の用途開拓



光コネクタ研磨機



新型光コネクタ
Intelli-Cross Pro



高機能新製品の市場投入と、工場拡張・自動化による生産力の増強

■ 開発戦略（新製品・新技術開発の加速）

- ・ 小型、大容量、高速通信を実現する次世代光接続部品の開発
- ・ 光コネクタ自動研磨装置・検査装置の開発
- ・ ミリ波帯対応RF光伝送ユニット開発
- ・ 超小型レンズのモジュール化技術の深掘り
- ・ 製造自動化技術の深化
- ・ 他社、大学、公的研究機関との技術連携強化



MTファイバアレイ



超小型LIM樹脂レンズ



GNSS光伝送ユニット

■ 生産戦略（ものづくり力の強化）

- ・ 光部品の組立～検査～梱包までの一貫自動製造装置の増強
- ・ 中国大連新工場における生産力の増強
- ・ 第三国への生産拠点開設検討



中国大連新工場
(土地33千㎡、建物10千㎡)



光部品自動組立装置

中期経営計画「マスタープラン2022」

～ 社会価値の最適化のための ～



サステナビリティ戦略

事業活動（商品・サービス）と
企業活動（制度・取り組み）を通して
4つのSDGs目標達成に貢献する

⇒ 付随する他の目標達成にも貢献

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



時代が求める商品やサービスをタイムリーに提供し、社会の進歩発展を支える

SDGs達成への貢献

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



3 すべての人に健康と福祉を



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



12 つくる責任 つかう責任



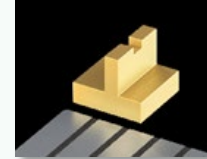
13 気候変動に具体的な対策を



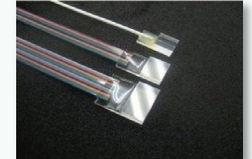
■ より快適なインターネット環境の構築に貢献する大容量高速通信対応の光通信用部品



新型光コネクタ
Intelli-Cross Pro



光モジュールの熱を逃がす
放熱金属材



高いコアピッチ精度を
実現するファイバアレイ

■ EVの普及や自動運転の進化を促す車載用部品

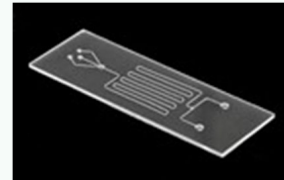


EVやHV自動車に搭載される電装部品の開発



車載用センサーに応用可能な
耐熱性樹脂レンズ

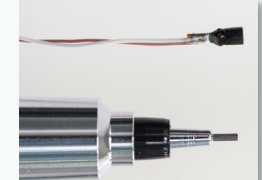
■ 人々の健康な暮らしを支える医療・バイオデバイスの開発



PCR検査にも活用可能な
マイクロ流路デバイス



微細構造を施した
細胞培養容器



内視鏡に活用可能な
超小型樹脂レンズ

3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、資源循環型社会の構築に貢献

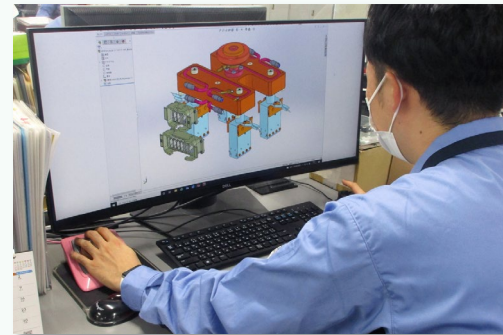
SDGs達成への貢献



■ リサイクル樹脂の活用により、廃棄物を削減



■ 環境に配慮した製品の開発・設計の推進



樹脂の使用量を削減するホットランナー金型設計

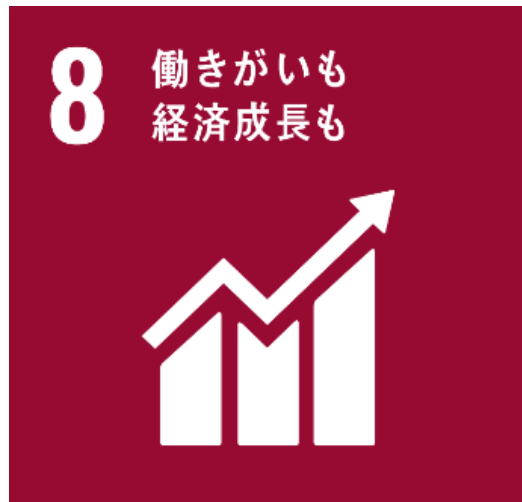
- 環境負荷となる有害化学物質の削減と管理の徹底
- 環境関連法規制の遵守

サステナビリティ戦略 ～人事/ITによる貢献～

社会価値の最適化

多様な人材が生き活きと働ける環境整備／クラウド化・ペーパーレス化・DX対応

SDGs達成への貢献



■ ダイバーシティとグローバル化の推進

- ・ 定年、再雇用制度の見直し
- ・ 出産育児支援制度の見直し
- ・ 女性総合職の採用強化
- ・ グローバル人材の採用育成
- ・ 健康経営の推進



■ 継続的成長を実現する人事制度の構築

- ・ 評価/報酬/教育・育成/異動等の制度見直し

■ DX・クラウド・ペーパーレス化の推進

- ・ 生産管理システム、財務会計システム等クラウド化推進
- ・ 電子帳簿保存法への対応
- ・ ワークフロー導入による電子決裁化の推進
- ・ 製造工程の自動化推進
- ・ グループセキュリティ強化

2026年度 温室効果ガス自社排出量 ⇒ 2020年度比17%削減へ

SDGs達成への貢献



■ 温室効果ガスの削減推進

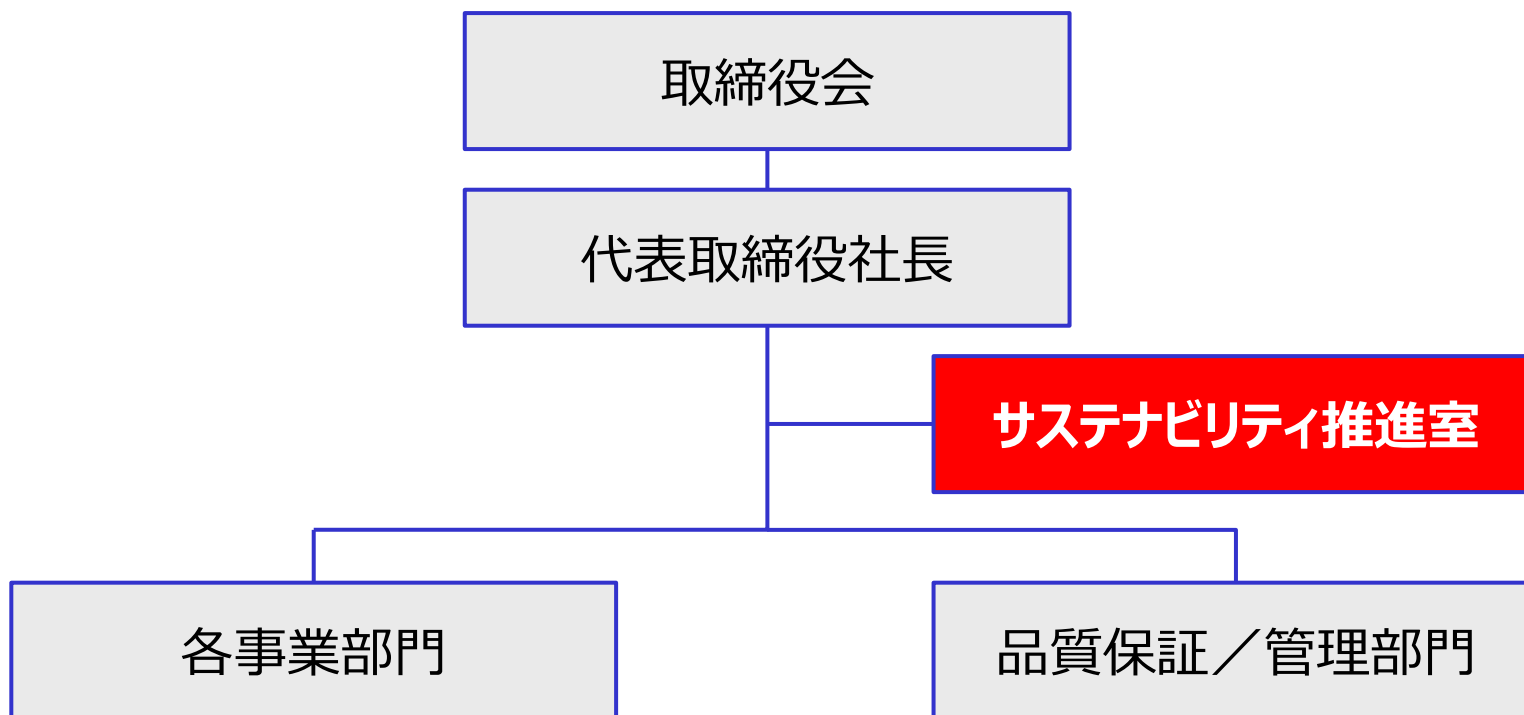
- ・ 省エネルギー・紙削減等の活動推進
- ・ 環境負荷の少ない製品・サービスの優先購入
- ・ 経年設備の小電力設備への更新
- ・ 自家発電、蓄電設備の活用検討
- ・ 再生可能エネルギーの活用検討



■ BCPの実効性の向上

- ・ BCP訓練の実施により実効性を向上
- ・ パンデミックを想定したBCPの再構築
- ・ クラウド化の推進により有事の際の事業継続を強化

社長直轄の「サステナビリティ推進室」を新設



- グループ全体のサステナビリティ活動の進捗を管理
- 達成状況を取締役会とステークホルダーに報告

中期経営計画「マスタープラン2022」

中期経営目標

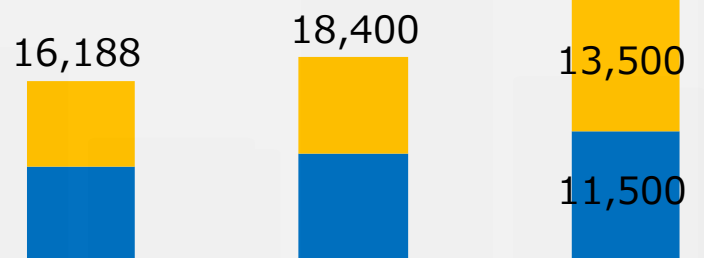


中期経営目標（損益指標）

中期経営目標：売上高250億円、営業利益25億円以上

（単位：百万円）

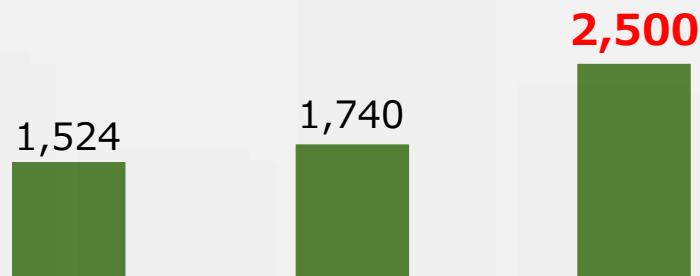
■ 連結売上高



2021実績 2022計画 2026計画

■ 精機関連 ■ 光製品関連

■ 連結営業利益

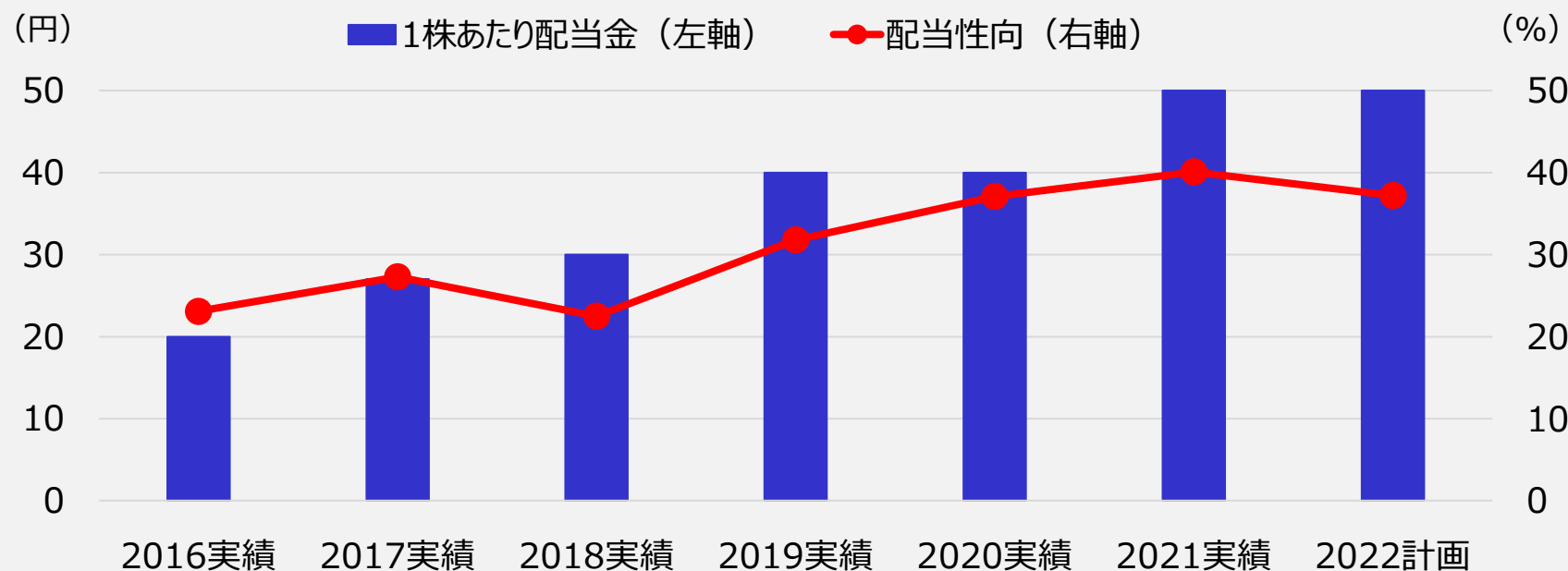


2021実績 2022計画 2026計画

（単位：百万円）	FY2021実績	FY2022計画	FY2026計画
精機関連	8,478	9,720	11,500
光製品関連	7,710	8,680	13,500
連結売上高	16,188	18,400	25,000
新製品売上比率	—	—	30%
連結営業利益	1,524	1,740	2,500
営業利益率	9.4%	9.5%	10%

中期経営目標（株主還元）

配当性向30%以上を目途に安定的に株主還元を実施



	FY2021実績	FY2022計画	FY2026計画
当期純利益 (M円)	1,150	1,240	—
1株あたり配当金	50円	50円	—
配当性向	39.7%	36.8	30%以上で安定配当

- I. 2022年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画「マスタープラン2016」の総括
- III. 中期経営計画「マスタープラン2022」
- IV. 2023年3月期 連結業績見通し**

2023年3月期 連結業績見通し

(百万円)	上半期	下半期	23/3月期 見通し	22/3月期 実績
売上高	8,820	9,580	18,400	16,188
営業利益	770	970	1,740	1,524
経常利益	760	1,000	1,760	1,641
当期純利益	530	710	1,240	1,150
設備投資			1,343	1,476
減価償却費			1,300	1,260
研究開発費			438	437

2023年3月期 連結業績見通し（部門別）

（百万円）				
精機関連	上半期	下半期	23/3月期 見通し	22/3月期 実績
売上高	4,710	5,010	9,720	8,478
営業費用	4,540	4,750	9,290	8,097
営業利益	170	260	430	381
光製品関連				
売上高	4,110	4,570	8,680	7,710
営業費用	3,510	3,860	7,370	6,567
営業利益	600	710	1,310	1,143

2023年3月期 連結業績見通し

想定為替レート	
1US \$	115円
1€	130円
1 中国元	18.5円

注) 本業績見通しは、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって見通し数値と異なる可能性があります。

ご清聴 ありがとうございます。